

## 令和元年第 12 回美唄市教育委員会会議録

- 1 と き 令和元年 8 月 21 日 (水)  
午後 4 時 00 分～午後 4 時 37 分
- 2 ところ 教育委員会
- 3 出席委員  
高橋教育委員 齋藤教育委員 土肥教育委員 今野教育委員
- 4 説明員  
森川教育部長 阿部学務課長 高橋学務課長補佐 桜井学務課長補佐  
日下学校給食センター所長 村上指導室長  
谷村生涯学習・スポーツ振興課長 谷川生涯学習・スポーツ振興課長補佐  
青木総務係長
- 5 開会  
今野委員を署名委員に指名  
会期を 1 日と決定
- 6 議件名

議案第 42 号	令和 2 年度から使用する教科用図書採択の件
議案第 43 号	美唄市立幼稚園保育料条例の一部改正の件
議案第 44 号	令和元年第 3 回市議会定例会補正予算案件提出の件
議案第 45 号	美唄市の部活動のあり方に関する方針の件

## 概要記録

16:00

●高橋職務代理者 ただいまから、令和元年第12回美唄市教育委員会議を開会いたします。順序第1 会議録署名委員に、今野教育委員を指名いたします。次に順序第2 会期の決定につきましては、本日1日といたします。次に順序第3 教育長報告、行事報告並びに行事予定について、事務局から説明をお願いいたします。

●森川教育部長 教育長報告等の前に、本日、生涯学習・スポーツ振興課長補佐の谷川が公務のために若干遅れますのでご報告いたします。教育長報告につきましては、現在教育長不在の為執行がございません。7月の行事報告、8月の行事報告、9月の行事予定を記載しておりますので、後でご覧いただきますようお願いいたします。私からは以上です。

●高橋職務代理者 教育長報告、行事報告・行事予定について、事務局から説明がありましたが、何かご質問はありませんか。

●各委員 ありません。

●高橋職務代理者 なければ、次に移ります。議案第42号 令和2年度から使用する教科用図書採択の件につきまして、事務局より説明をお願いします。

●村上指導室長 議案42号「令和2年度から使用する教科用図書採択の件」についてご説明いたします。次のページ議案第42号をご覧ください。このことにつきまして、「義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律」におきまして、第13条にある採択地区において教科用図書を採択するものであります。空知においては、岩見沢を除いた市町において第5採択地区協議会を設置しております。本年度は、令和2年度から使用する小学校用教科用図書及び令和2年度に使用する中学校用教科用図書、学校教育法附則第9条に規定する教科用図書を採択となっております。次のページをご覧ください。令和2年度から使用する教科用図書につきましては、教科ごとの調査研究及び小部会を開催し、展示会の意見を参考にして、協議会にて全会一致で決定したものであり、美唄市教育委員会議においても採択いただき、結果を「採択決定報告書」として事務局に報告するものであります。今年度採択協議会にて採択決定した教科用図書名は、次のページの別途資料のようになっております。ご確認いただきたいと思います。併せて次のページの、令和2年度に使用する中学校用教科用図書につきましては、「平成27年度の調査研究報告書」を参考とし、現在使用している教科用図書を採択されております。資料に一覧表を添付しておりますので、ご確認ください。中学校の採択におきましては、小学校より1年遅れて令和3年度より新学習指導要領が始まることにより、来年度、すべての教科の教科

用図書が今年の小学校のように、採択されることを申し添えいたします。次に「学校教育法附則第9条に規定する教科書」は、特別支援学級で使用するものでございます。教科書を多数採択することを表すもので、特別支援については、各小中学校の希望を踏まえ、また各市町教育委員会において児童・生徒の障がいの種類、程度に応じて採択することといたします。以上でございます。

●高橋職務代理者 ただいま、事務局から説明がありましたが、委員の皆さまからご質問があれば伺います。ありませんか。ないようですので、議案第42号 令和2年度から使用する教科用図書採択の件につきまして、原案どおり可決してよろしいですか。

●各委員 はい。

●高橋職務代理者 では、原案どおり可決いたします。ここで、一旦議事を中断いたします。ここまでは非公開としておりましたが、この後、傍聴者が入りまして議案を再開いたします。

●高橋職務代理者 それでは会議を再開いたします。議案第43号 美唄市立幼稚園保育料条例の一部改正の件について、事務局から説明をお願いします。

●阿部学務課長 それでは議案第43号 美唄市立幼稚園保育料条例一部改正の件についてご説明申し上げます。お手元の資料を1ページめくって、参考資料をご覧ください。改正の趣旨でございます。国が少子化対策の一環として令和元年10月から実施する「幼児教育・保育の無償化」につきまして、本市に住所を有し、市立幼稚園（栄幼稚園）に在籍する園児の保育料の無償化を行うため、必要な改正を行うものでございます。2番目、改正の内容につきましては、幼稚園の保育料、利用者負担額については無償とするといった規定を入れるということとしてあります。施行期日は令和元年10月1日となっております。前のページの新旧対照表、新の第2条をご覧ください。利用者負担額につきましては、子ども・子育て支援法第27条第3項第2号により政令で定める金額を限度としまして、教育・保育給付認定保護者の属する世帯の所得の状況、その他の事情を勘案して市が定める額を納付しなければならない、となっています。前項に規定する利用者の負担額は、教育委員会規則で定める、と規定しているところです。これは下の方の附則、施行期日の下に特例規定を設け、この条例の規定にかかわらず、第2条の利用者負担額については無償とする、ということになります。10月1日からこの条例に規定はされていますけれど、利用料金については無償とするといった内容となっております。併せて利用者負担額については教育委員会規則で現在定められていますが、この条例が議会に上程され、可決された後には、教育委員会規則の改正も9月の教育委員会議でお諮り

いただきたいと思います。現在の状況で申し上げますと、公立幼稚園も私立幼稚園も新制度に移ってから一律 15,000 円といった保育料ではなく、所得に応じた保育料となっています。生活保護世帯は現在も 0 円で改正後も 0 円です。非課税世帯の家庭については年収 270 万未満となりますが、改正前も 0 円ですが改正後も 0 円、360 万未満の所得の方については現在 6,100 円となっていますが、0 円になります。680 万円以下の所得の方については現在保育料が 7,700 円ですが、0 円にするということです。680 万以上の所得の方については 9,600 円という保育料ですが、これを 0 円にするということです。と言うことは所得に関わらず幼稚園につきましても、私立幼稚園についても同じですが、保育料は無償化ということになる予定でございます。次のページをご覧ください。参考資料をつけてみました。これは国が示している令和元年 10 月からの無償化について、国が配付しているチラシですが、最近テレビでも宣伝しているかと思います。これについては、3 歳から 5 歳までの幼稚園、保育所、認定こども園等の利用料・保育料が無償化されますということになります。3 歳から 5 歳までですので、保育所につきましても一部料金を取るといいますか、未満児については料金がかかっているところです。今回の無償化について申し上げますと、一番上の「対象者・利用料」というところで、幼稚園、保育所、認定こども園が 3 歳から 5 歳までは利用料が無償化されますということで、参考までに申し上げますと、栄幼稚園については 6 ヶ月間、10 月から 3 月まで今年度につきましても 26 万 8,500 円の保育料をもらわないということになります。アカシヤ幼稚園については 6 ヶ月間で 305 万 5,200 円無償化ということになります。めぐみ幼稚園については 105 万円の無償化ということで、これらにかかる経費が 437 万 3,700 円ということになっています。私立幼稚園については教育委員会規則で課金を定めることになっていますので、公立幼稚園の条例が制定された後には、栄幼稚園（公立の幼稚園）と私立の幼稚園の両方の規則の改正、0 円にする改正を予定しているところでございます。黒丸の 3 つ目のところ、ここに通園送迎、食材費、行事費、についての規定がありますが、幼稚園で出されている副食、お弁当については費用が免除されるということになります。保育料と幼稚園で出されるお弁当の「ご飯」ではなくて「おかず」の部分が無償化されるという制度になります。これは所得によって一部違いますが、基本的には 360 万未満の世帯のお子さんについては全部無償化され、それ以上の所得のある方については第 3 子がいらっしゃいましたら、第 3 子については無償化されるといった制度になっています。裏面をご覧ください。「幼稚園の預かり保育を利用する子供たち」とありまして、今幼稚園では市から委託されて預かり保育事業、幼稚園が終わった後に保育所とは違いますが、預かり保

育を5時半までという時間帯、教育時間4時間を超えた部分で行っています。基本的に入園児のいるご家庭は、お父さん、またはお母さんのどちらかが働いていて、どちらかが働いていないというご家庭が多いかと思いますが、その中でも、ご両親のどちらかの方が通常働いていて、もう一人の方が概ね月48時間くらいパートなどのお仕事をされている方については、保育の認定を受けることができますので、幼稚園に預けている方でも働いているお母さん、お父さんがいらっしゃいましたら、一時預かり保育料を無償化するという制度になっています。今回の無償化の制度は、この3つが無償化になっているということで、少し議案とは離れますが、そういう中身で無償化がされるということをご紹介させていただきました。議案第43号につきましては、以上でございます。

●高橋職務代理者 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様からご質問があれば伺います。

●斎藤委員 質問ではないのですが、意見として受け止めていただければと思うのですが、無償化という言葉が表に出ていて、実際はお金のかかることが細かく色々あるようですので、利用者の方にその辺誤解のないように、きちんと分かりやすい説明をしていただけるよう、よろしくお願いしたいと思います。

●高橋職務代理者 他に質問、意見などありませんか。

●土肥委員 無償化になって、どの幼稚園・保育所も同じ部分だけが無償化ということで、各園、施設で在園してかかってくる経費というのは全くバラバラで違うということになってくるのですか。例えばお弁当のお金など。

●阿部学務課長 次の議案の補正予算でご説明をしようかと思っておりましたが、まず、無償化になる経費は今年度については国が10分の10、消費税を財源としていて、一旦市が立て替えて払いますが、財源としては国から入ってくるということになります。お弁当代については国が基準額を示していて、月額4,500円ということになっています、この4,500円のうち、副食費がいくらでご飯代がいくらかというのは、これからの作業になりますが、計算の仕方は国が実費額を入れるということになっています。例えば幼稚園が「こちらの幼稚園は370円で、あちらの幼稚園は、500円」ということではなくて、国の統一した基準の中で実費額をお支払いする、という形での入れ方になってきます。あと、お子さんにかかる部分については大きい幼稚園もあるし小さい幼稚園もありますが、子どもさんに応じた数（園児の数）によって無償化される金額が出ますので、そこを補填するということになります。国から市にお金の下りてきて、市から各幼稚園にお支払いをして、保護者からは取らないという対応をします。

●今野委員 確認させていただきますが、幼稚園の延長保育があると思いますが、アカシヤ幼稚園ですとか、めぐみ幼稚園の延長保育に、時間何円とかかかっていますが、それも無償になるということですか。

●阿部学務課長 幼稚園は、基本的にお父さんかお母さんのどちらかが働いていますが、通常はお父さんが働いていらっしゃる。お母さんが働いていない場合は1号認定、2号、3号認定とありますが、1号認定になっていて幼稚園に入れるということなのですが、それでも、お母さん方の中で少し働いたり、自営業の方もいらっしゃる。その中で働いていたり、先ほど48時間と言いましたが、いくつかパターンがあり、それに合致すれば、保育所ではありませんが、「お母さんも働いているから保育にかけるという認定をしてください」という、指示をします。認定をされた方、普通に働いているお母さんも預かり保育はできますが、働いているお母さんについては認定するので、預かり保育料は無償とします、という制度です。

●今野委員 それでは、申請をした上で無償化になるということによろしいですね。その辺を明確に表して、皆さんがわかるような仕組みがあったほうが、分かりやすいのではないかと思います。保育されている家庭の方たちに申請漏れがあったりすると、やはり受けられる制度も受けられないということになってしまいますので。

●阿部学務課長 制度の説明は、教育委員会からも幼稚園の方からも、実際、私立幼稚園も詳しいので。この預かり事業は幼稚園の制度ではなく、市の制度です。教育委員会から幼稚園に委託受託の関係があって、こちらが監督者なので、上手に伝えてもらうようにしたいと思っています。

●高橋職務代理者 よろしいですか。

●今野委員 はい。

●高橋職務代理者 他に何か質問はありますか。質問がないようですので、議案第43号 美唄市立幼稚園保育料条例一部改正の件については、原案通り議会に提出することとします。次に、議案第44号 令和元年第3回市議会定例会補正予算案件提出の件について、事務局から説明をお願いします。

●阿部学務課長 議案第44号 令和元年度補正予算についてご説明申し上げます。補正額は先ほども申し上げました3つの事業のうちの保育料については、年度当初予算に入っていますので、この補正予算については先ほど言いました一時預かり事業とおかず代（お弁当の副食費）についての補正予算となっております。補正額は238万4,000円で補正後の予算総額は9億1,206万3,000円となっております。歳出は238万4,000円ということになりまして、幼児教育無償化実施事業につきましては65万6,000円ということで、これは栄幼稚園、アカシヤ幼稚園、めぐみ幼稚園、

市外の幼稚園も入れた中の保育の必要性があると認めた一時預かり事業について、かかる費用の保護者負担分について助成しようとするものでございます。これは保護者からはお金を取らないで、市から幼稚園に給付するという内容となっています。私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業、172 万 8,000 円でございます。これにつきましては、外部給食（お弁当）を幼稚園は取っていますので、週 2 回程度の実施と聞いておりますが、これの副食費に関する無償化に対応する予算ということになっております。歳入につきましては今年度、国庫支出金ということでそれぞれの事業、子育てのための施設等利用給付交付金、子どものための教育・保育給付交付金、子ども・子育て支援臨時交付金ということで、すべて国からの交付金で 10 分の 10 の補助となっております。今年度につきましては市の負担は無いものということになっています。次のページをご覧ください。幼児教育無償化実施事業となっておりますが、これが一時預かり保育の認定をされた方の保護者負担分を、市が幼稚園に給付するといった内容になっております。合計金額 65 万 5,200 円、栄幼稚園、アカシヤ幼稚園、めぐみ幼稚園、市外 2 幼稚園の内訳が、表の中央、「事業費の内訳」というところに記載しています。次のページ、私立幼稚園施設型給付費負担金給付事業ですが、これについては「事業内容」の「10 月からの幼児教育・保育無償化の施策の一環として、要件を満たす園児の副食費を無償とする。」ということで、幼稚園については、外部からのお弁当の調達ということで、週に 2 回程度行われておりますが、このおかず代の給付となっております。対象者は 360 万未満の世帯の園児が対象となります。また年収を問わず第 3 子については対象となるというふうにしています。「事業費の内訳」につきましては 172 万 8,000 円、アカシヤ幼稚園、めぐみ幼稚園、市外 2 幼稚園の内訳は記載のとおりとなっております。以上でございます。

●高橋職務代理者 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から何か質問があれば伺います。

●各委員 ありません。

●高橋職務代理者 質問がないようですので、議案第 44 号 令和元年第 3 回市議会定例会補正予算案件提出の件については、原案どおり議会に提案することとします。次に議案第 45 号 美唄市の部活動のあり方に関する方針の件について、事務局から説明をお願いします。

●阿部学務課長 議案第 45 号 美唄市の部活動のあり方に関する方針についてでございます。平成 31 年の 4 月 18 日開催の第 7 回の教育委員会議において、この内容について、一度ご審議をいただいたところでございます。その時にこの方針につ

いて、1 ページをご覧いただきたいのですが、「方針策定の趣旨等」の一つ目の丸印のついているところですが、「生徒の自主的、自発的な参加により行われる部活動は、スポーツや文化、科学等に親しませ、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するものであり、学校教育の一環として、教育課程との関連が図られるよう留意する必要がある。」というところ、それから二つ目の丸印「学校教育の一環として～教育的意義が高い。」ということで示させていただいております。これは北海道の部活動のあり方に関する方針と全く同じ記載としています。第7回の教育委員会議において教育委員さん方から、学校教育の一環として入れて、というのは部活動と教育課程とは別のものだということがありまして、色んな誤解ですとか、学校現場が混乱しないかとか、慎重に記載してほしいというご要望があり、一旦、その時点では決定をいただかないで、他市の状況等も調べてみたらどうでしょうかとのお話をいただいたので、少しお時間をいただき、今回、他市の状況も確認しましたので提案させていただきました。空知管内9市中、7市が「学校教育の一環として」という記載があるということで、このとおり道教委と同じ方向性で実施するというお考えだそうです。それから2市が記載されておりませんが、そのうちの1市が記載はしていないが、その趣旨で取り組む、ということで伺っておりますので、空知管内9市中8市がこの考え方で進むということになります。残りの1市も記載は違うかもしれませんが、考え方は同じ方向性だろうということで考えております。また、この方針策定の中の「学校教育の一環として」という部分につきましては、今回の中学校学習指導要領の「学校運営上の留意事項」の「教育課程の改善と学校評価、教育課程外の活動との連携等」ところですが、この中に「学校教育の一環として教育課程との関連付けられるように、部活動については留意すること」という記載が入ったところですので、それを受けてこの部分については記載が必要だろう、というふうに我々は考えまして、入れたところです。本日校長会があり、校長会でもこのところをご説明したところ、校長先生方からも概ね理解していただけたと思っており、異論などの意見はない状況でした。この方向性でさせていただきたいということで、校長会にもお話をしてきたところです。次に5ページをご覧ください。部活動の方針の中で、休暇のことが重要だと思います。先生方の働き方改革の一環として、3の「適切な休養日等の設定」というところの、アの一つ目の丸のところになります。ここで学期中は週当たり2日以上 of 休養日を設ける、少なくとも土日については1日の休養日を設けるということになっています。これは計算しますと104日、部活動を休む日ができるということになります。先だって決めました美唄市の教職員の働き方改革アクションプランは、休暇



を今年度、閉庁日を含めて73日と定めましたので、今回これを定めると、また、ハードルを上げていくということになります。つまり、休みをもうちょっと取りなさいということです。104日というのは、北海道で出したアクションプランをうちは同じく踏襲して、73時間というアクションプランを作りましたが、スポーツ庁がさらに厳しく休暇を設けて、科学的なトレーニングをとというような趣旨で作られていますので、今回、104日というのが入ってきて、本市もこれに合わせて104日という形で合わせていかなければならない、と考えております。3つ目の丸の下の方で、アクションプランでは平日2時間から3時間程度と部活動の時間を決めていたのですが、今回の方針の中では長くても平日2時間、学校の休業日については3時間程度というふうにしています。これも道のプランと合わせた形になりますが、これに併せて道教委は先生方の部活動手当も半日とか3時間という区切りを下げて、この時間に合わせて手当を支給するように金額も下げています。そういうことで、全て色々なものが連動して取り組みをしていかなければならないといったことになります。この後、さらに公立学校の教職員の勤務時間の上限に関するガイドラインというものが出てきました。これは道のアクションプランの中にも盛り込まれています。今教職員と申し上げましたが、教職員の勤務時間の時間外の上限を45時間以内とか、年間360時間以内にするとか、もっと枠を厳しく当てはめてきています。このガイドラインは教職員に限らず、今度は国家公務員・地方公務員・民間労働者の方、つまり勤労者、働いている方は皆、少し制度的には違いはありますが、基本的には時間外の枠組みを45時間以内とか360時間以内にする、といった設定となってきました。大企業と中小企業については試行期日が違ったり、民間企業では少し厳しい規定があったりしますが、働き方改革のプランが全労働者に広がるといった考え方になっているように伺えます。今年度は私共のアクションプランで73日と定めて学校に通知して先生方にも取り組んでいただいているので、今年度は73日と考えています。令和2年度から新しい方針として104日にしたいと思っております。道のアクションプランが104日ですので、私共のアクションプランも後ほど104日の日数に合わせまして、また新たに策定し直しまして、教育委員会にも校長会にも示したいと考えております。以上でございます。

●高橋職務代理者 ただいま事務局から説明がありましたが、委員の皆様から何か質問はございませんか。

●今野委員 この定められた休日というものがあるのですが、いわゆる逃げ道があり、実際にあったことなののですが、吹奏楽ですけれど、4月に入学した当初、コンクールに合わせて休みたくなかったので、部活動を5月まで、1カ月間行わず、その分

を後に持っていくということを今年やった部活動があるのですが、それは全く勝つための部活動のイメージ、としか私は捉えていませんが、やはり入学したての部活動の体験というのは、とても子供たちにとって中学1年生というのは大事で、高校生でもそうなのですけれど。極端に勝つための部活動ではなく、子どもの成長過程の一つとして捉えた部活動でなければダメだと思っています。その逃げ道を作らざるを得ないと思うのですけれど、極端な逃げ道はダメだと思います。正直な話、1カ月休んだから、1カ月は休まなくても良いという考えにはならないと思いますので、この辺は校長先生、教頭先生に正しく休日の設定してもらい、やって行かなければ、子ども達の成長に影響がないのかと疑問を持ったところです。どこの学校とは言いませんけれど、お母さんたちの話を聞くと、「それは少し度を超えている」という意見が大半でした。

●阿部学務課長 今野委員のおっしゃるとおりだと思います。手順化するわけではないのですが、やはり週の中で何日か休む。先生方の働き方改革もあるのですけれど、今、おっしゃった、子どもたちの成長の問題ですとか、学業があって部活動があるということを両立させていくので、その中に必要な休みがありますし、運動系であれば科学的なトレーニングで運動時間を短くするなど、ただ、日数だけかけて長い時間やれば良いというのではなくて、学校も考え方が変わってきていますが、そういう意味では休みをどこかに寄せるというのは、たくさんやった日は休みをどこかに振り替えるという変則的に使える事にはなっていますが、趣旨は委員さんがおっしゃるとおり、どこかに寄せて大会のためにやるというものではないということです。ただ、大会の時には少し練習時間が長引く、そのようなことはダメだとは言いませんので、教育課程との連動、そういったことも考えながら、子どもの健康も考えながら、それから先生方の健康も考えながら、という趣旨なので、委員さんのおっしゃるとおりだと思います。学校側もその辺は意識出来てきていること、それから2年度以降、なかなかこの取り組みが厳しくなっていることで、実施計画とか実施報告書のようなものも出来ていくことになっていくと思います。出してくる書類と実態は少し乖離している部分はあるかもしれませんが、それは少しずつ改善していきたいと思っています。

●高橋職務代理者 よろしいですか。

●今野委員 はい。

●土肥委員 質問ではないのですけれども、あくまでもその状況というのは校長先生の裁量でどうにでもなると言ったらおかしいのですけれども、そういうことになるのでしょうか。例えば、実施計画を校長先生に提出し、校長先生がチェックして、こ

れだったら良いですよ、と認めてはいるけれど、そうやって1カ月練習をしないで1カ月後に持っていくという許可といいましょうか、そういうものは校長先生が許可をして流れていっているものなのですか。

●阿部学務課長 部活動についても教育課程と課題づけていることもありましたが、校長先生の管理の下ということになります。我々がいちいちそれをチェックして、ということではないのですけれど、校長先生の範疇の中で学校経営の中で整理してほしいと基本的には思っています。ただ、極端な例があればそれは是正しなければなりませんし、一応計画書を見て、この計画に合致するかどうかということをチェックできるようになっておりますので、それをチェックしてもらおう。ただ実際のところ保護者も熱が入っていて、子ども達もやる気があって、頑張っている部活動も分かっていますけど、それを全部ダメだということにするわけではないのですが、その辺の気持ちも考えながら、少し寄せたりすることがあっても、そこは学校側の取組や顧問の先生もいるので、これを念頭におきながらやってほしいという話を今日してきたところです。

●高橋職務代理者 よろしいですか。他に何か質問があればお伺いします。

●各委員 ありません。

●高橋職務代理者 それでは議案第45号 美唄市の部活動のあり方に関する方針の件については、原案どおり可決したものとします。以上で本日の議事については終了しましたが、他に何かございませんか。なければ、これをもちまして、令和元年第12回美唄市教育委員会議を閉会いたします。ありがとうございました。

16:37 終了

以上会議の顛末を記載し、その相違無いことを証するためここに署名する。

署名委員 今野 暁子

別紙 1

教 育 長 報 告

自 令和元年 7 月 31 日

至 令和元年 8 月 20 日

教育長不在のため、報告事項なし

上記のとおり報告する。

令和元年 8 月 21 日

美唄市教育委員会

教育長職務代理者 高 橋 泰 浄

## 7 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行	事	時間	場 所	対 象
31	水					

## 8 月 行 事 報 告

教 育 委 員 会

日	曜	行	事	時間	場 所	対 象
1	木	郷土史料館収蔵展「いただきもの写真から」31日（土）まで			郷土史料館	市 民
2	金					
3	土	夏休み子ども映画会		10:00	郷土史料館	市 民
				13:30		
		キッズ・ダンス教室成果発表		10:20	市役所前ステージ	市 民
4	日	東明駅舎開放日		9:00	東明駅舎	市 民
		郷土史料館見学ガイド		14:00	郷土史料館	市 民
5	月					
6	火					
7	水	キッズ・アスリートスクール⑥		10:00	温水プール	市 民
8	木	キッズ・アスリートスクール⑦		10:00	温水プール	市 民
9	金	リズムビクス⑤		16:20	ピバオイの里プラザ児童館	市 民
10	土	夏休み子ども映画会		10:00	郷土史料館	市 民
				13:30		
		おはなしの会ブックスタート（3歳児）		10:30	郷土史料館	市 民
11	日					
12	月					
13	火					
14	水					
15	木	なつかしの映画上映会		14:00	郷土史料館	市 民
16	金					
17	土	夏休み子ども映画会		10:00	郷土史料館	市 民
				13:30		
		おはなしの会ブックスタート（3歳児）		10:30	図書館児童室	市 民
18	日	なつかしの映画上映会		14:00	郷土史料館	市 民
19	月					
20	火					

# 9 月 行 事 予 定

教 育 委 員 会

日	曜	行 事	時間	場 所	所 管
1	日	東明駅舎開放日	9:00	東明駅舎	生涯学習・スポーツ振興課
		郷土史料館見学ガイド	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
2	月				
3	火				
4	水				
5	木				
6	金	学校祭(美中・南中・東中)		学校	
7	土				
8	日				
9	月	キッズ・アスリートスクール⑨	16:30	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課
10	火	第6回定例校長・園長会議	9:30	第4会議室	指導室
11	水				
12	木				
13	金	リズムピクス⑦	16:20	児童館他	生涯学習・スポーツ振興課
14	土	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
		美唄市婦人団体連絡協議会「第50回芸能発表会」	13:00	市民会館	生涯学習・スポーツ振興課
15	日	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
16	月				
17	火				
18	水	第6回定例教頭・主幹教諭会議	9:30	第4会議室	指導室
19	木	なつかしの映画上映会	14:00	郷土史料館	生涯学習・スポーツ振興課
20	金				
21	土	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
22	日				
23	月	第28回ビバオイヘルシーロードレース兼第24回美唄市ハーフマラソン大会	9:10	総合体育館前	生涯学習・スポーツ振興課
24	火				
25	水				
26	木				
27	金	おはなしの会ブックスタート(3歳児)	10:30	図書館児童室	生涯学習・スポーツ振興課
		リズムピクス⑧	16:20	児童館他	生涯学習・スポーツ振興課
28	土				
29	日				
30	月	キッズ・アスリートスクール⑩	16:30	総合体育館	生涯学習・スポーツ振興課